

令和8年度第1回自治体等FM連絡会議大阪府地域会の開催報告について

大阪府地域会代表幹事(貝塚市総合政策部公共施設マネジメント室長)七野 司

去る令和8年7月31日、令和8年度第1回自治体等FM連絡会議大阪府地域会を、泉南市職員研修会と合同で開催し、地域会会員から44名のご参加をいただきました。

今回は2名の講師をお迎えし、浜松市教育委員会事務局教育施設課長の松野英男様から「ファシリティマネジメントの考え方に基づく都市公園のあり方と官民連携」、泉南市総務部公共施設再編課長の奥野誠也様から「泉南りんくう公園の事業概要と公共施設マネジメントの取組紹介」と題して、それぞれご講演いただきました。



松野様からは、浜松市における公共施設マネジメントを取り組むにあたっての考え方、資産経営の観点から施設のあり方を分析した事例についてご紹介いただきました。

現状を客観的に分析し、本当に必要なものは何か、必要な機能を考える際には、民間を含めた類似機能や代替施設がないかを確認し、事業の見直しを行うことの必要性についてお話いただきました。

奥野様からは、現在の泉南市における取組や、今回の会場である泉南りんくう公園の事例についてご紹介いただきました。

実際の事業スキームについての概要や特徴、事業化に至るまでのスケジュールなど、具体的な内容について、お話しいただきました。



いずれも、実際に担当者として試行錯誤しながら取り組まれた事業であり、当時の状況や判断に至った経緯など、非常に具体的にお教えいただいたため、参加された皆様にもわかりやすく、同じ立場での状況についてご共有いただきました。

中でも松野様からは、「必ずしも長寿命化する必要はなく、何のために施設や民活を活用するのか、目的を明確にして使われる・活きる施設にする。」という印象的なお言葉をいただきました。また、地元事業者との関係性が重要であることや、事業者が参加できる事業のサイジングの必要性についてもお話いただきました。松野様が浜松市において、地域全体の向上、それを持続するための熱い想いに触れることで、取り組む上での姿勢の根底を再認識しながら、新たな可能性の発見を共有させていただきました。



後半は、参加者の皆さまには3グループに分かれていただき、会場である泉南りんくう公園の現地視察を行いました。天候にも恵まれた快晴の中、「ロングパーク」の名称のとおり約2kmある公園の各所で、多くの利用者が夏を満喫している様子を確認することができました。また、屋内外問わずさまざまな場所が利用されている状況を実際に視察することができました。

参加者からのアンケート結果では、「具体的な事例を伺うことができてよかった。」といった意見が寄せられました。また、分かりやすくリアルな事例として多く感想をいただいております。今後も、地域会が少し先の将来への一歩を後押しできるよう、継続して開催していければと思います。

最後になりますが、ご講演いただいた浜松市教育委員会事務局教育施設課長の松野様、泉南市総務部施設再編課長の奥野様、ご参加いただいた方々、ご支援いただいた(一財)建築保全センターの関係者の方々にお礼申し上げます。